

南富良野町水害タイムライン第1回検討会

「南富良野町水害タイムライン第1回検討会」を開催しました。タイムラインは、空知川で水害発生の可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図る事前防災計画です。南富良野町では空知川の氾濫を想定し、平成30年度に3回の検討会を行い年度内に「南富良野町水害タイムライン試行版」を策定、運用を開始する予定です。

【実施日時】平成30年9月12日(水) 13:30～16:30

【実施場所】南富良野町役場 大会議室

【参加機関】南富良野町、防災関係機関 6機関66名

開会の様子

【開会あいさつ】

南富良野町の池部町長とアドバイザーの環境防災研究機構北海道黒木代表理事より挨拶がありました。

池部町長は今回の検討会の開催にあたり、一昨年台風10号の経験を活かし、早い段階からの災害対応と災害対策本部の初動の確認等について議論して、南富良野町に合ったタイムラインを作成したいとお話されました。

黒木代表理事からは、自然災害というのはいつ襲ってくるかわからないため、普段からの備えが大事になる。忌憚のない議論を行って、より良いタイムラインの計画を作成頂きたいとお話されました。

【趣意・検討体制・スケジュールについて】

札幌開発建設部河川整備保全課より、南富良野町水害タイムライン検討会の開催趣旨や検討体制、開催スケジュールについて説明をしました。



池部 彰 南富良野町長



黒木幹男アドバイザー

ワークショップ

【災害シナリオ・リスクの説明】

はじめにシナリオ・リスクについて説明がありました。災害シナリオは、防災行動の実施時期や手順整理を行うために災害危険性から発災までの一連の状況や発表情報を示した1パターンの「想定シナリオ」で、タイムライン検討のために参考となる災害事象「災害リスク」を参加機関で共有しました。



グループワークの様子

【グループワーク】

グループワークは意思決定グループと総務・企画対策グループ、保健福祉・文教対策グループ、建設・産業対策グループの4つに分かれ、意思決定グループは前半に町の意思決定事項のトリガーとタイミングの整理を行い、後半は意思決定に必要な防災行動の抽出とタイミングの整理を行いました。その他の3グループは前半に昨年の水害対応演習のとりまとめ表や地域防災計画からの防災行動の抽出・細分化を行い、後半は各対策グループが抽出した防災行動のトリガーとタイミングの整理を行いました。

全体講評

検討会の後に、黒木アドバイザーから検討会全体の講評を頂きました。

それぞれの班で実施すべき項目について、どの時点で誰が何を行うのかははっきりさせることがこれからの課題で、次回に事務局が整理した素案に基づいてワーキングで整理して頂きたい、とのお話がありました。

閉会挨拶

札幌開発建設部河川整備保全課岩崎課長より閉会の挨拶がありました。

台風や地震といった最近の災害は年々想定を超える規模で起きている。次回は横との連携の確認を含め議論して頂き南富良野町に合ったタイムラインが出来るように引き続きよろしくお願ひしたい、と述べられました。



岩崎河川整備保全課長